

第42回苫小牧市地域協議会次第

日時：平成26年12月24日(水)19時00分～

場所：植苗ファミリーセンター

1 開 会

2 あいさつ

北海道知事 高橋 はるみ

苫小牧市長 岩倉 博文

3 議 題

【継続協議事項】

- (1) 深夜・早朝時間帯の離着陸回数の変更に係る協議について
 - 必要枠数について
 - 住宅防音対策案について
 - 地域振興対策案について
 - 枠拡大に係る協議の進め方について

【報告事項】

- (2) 前回の地域協議会における意見等について

- (3) その他

4 閉 会

< 配付資料 >

資料1 - (1) 必要枠数

(2) 住宅防音対策案

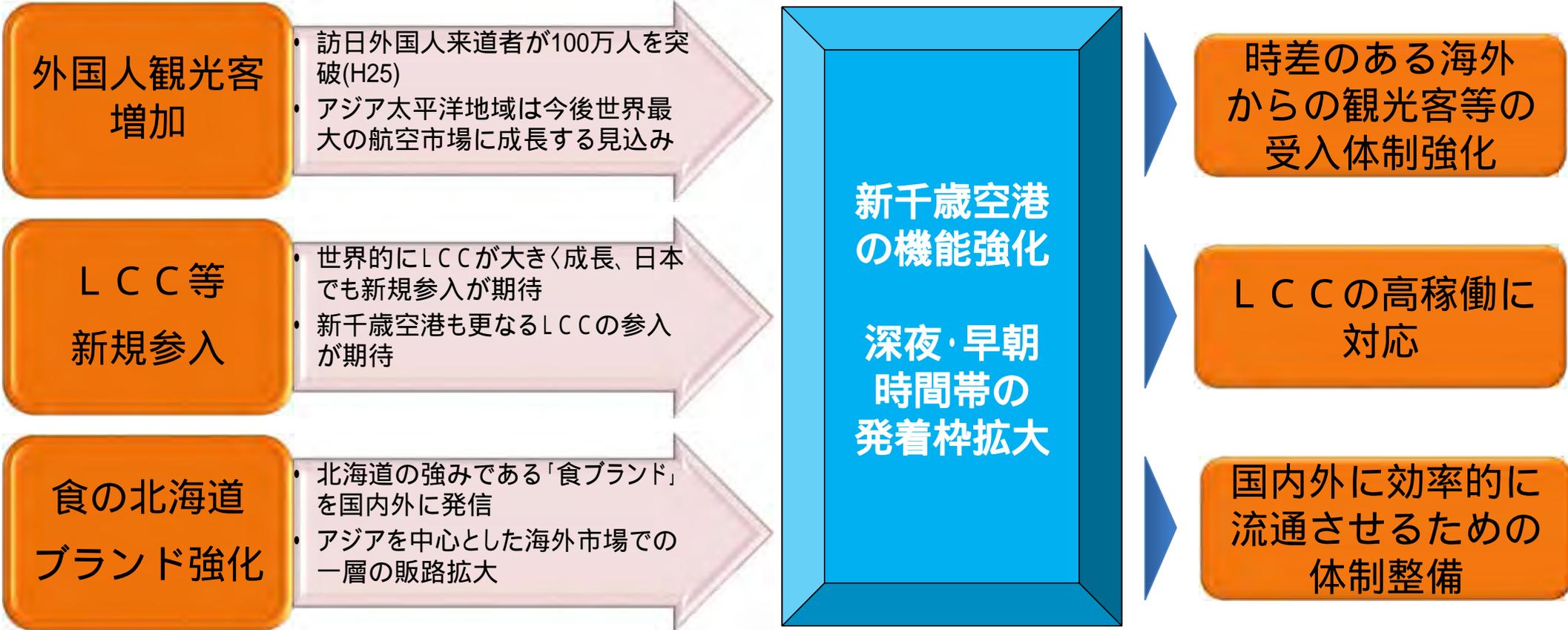
(3) 地域振興対策案

(4) 枠拡大に係る協議の進め方

資料2 前回の地域協議会における意見等について



新千歳空港の深夜・早朝時間帯の発着枠拡大の必要性



国際拠点空港化による北海道経済の活性化

必要枠数(競争力のある国際拠点空港として必要な枠数)



エアライン就航ニーズ
国際線誘致のための必要枠数
24枠
6枠
計30枠

深夜・早朝時間帯
の必要枠数 30枠

主要な内陸空港の深夜・早朝時間帯
における就航便数
成田空港 33便

- 活力ある本道経済を牽引 -

新千歳空港
乗降客数の増

年間約115万人の乗降客が増加
(国内旅客15便増・国際旅客7便増として試算)

新千歳空港の年間利用者数 2,000万人 突破が視野に!

国際線利用者
の増

年間約40万人の国際線乗降客が増加

急増する外国人観光客の受け入れに北海道が貢献! 108万人(H24) 128万人(H25)18%増

経済効果

年間261億円の経済波及効果が発生

道内最大の冬のイベント、200万人を集客するさっぽろ雪まつり(316億円)に匹敵する経済波及効果!



30枠への拡大を地域の皆様にご理解いただくための必要な対策



必要な対策

深夜の睡眠
への配慮

安全・安心な
暮らしの確保

世代が繋がる
コミュニティの
形成

時間帯制限

- ・増加する「24枠」については22時～24時及び6時～7時に制限

住宅防音対策

- ・工事回数: 将来のフォローアップ工事
- ・工事内容: 前回示した上限額を撤廃
防衛省並みの防音工事を実施

地域振興対策

- ・地域と空港との調和ある発展のための振興策
- ・住宅防音対策の補完

住宅防音対策案の再修正について

住宅防音工事の内容

【工事の種類】

経年住宅（防音建具機能復旧工事）

- ・対象住宅は、平成6年の6枠合意に基づき、防音工事を実施した住宅です。
- ・上限額を設定せず、国（防衛省）に準拠し、防音サッシの取替のほか、必要に応じて原状復旧を行います。
- ・上記の防音サッシの取替に代えて、内窓を設置できるようにします。

新規住宅（新規住宅防音工事）

- ・対象住宅は、区域指定日における上記以外の住宅です。
- ・国（防衛省）に準拠し、必要な防音工事を行います。

建替住宅（建替住宅防音工事）

- ・上記のととの工事に代えて建て替える場合の通常仕様と防音仕様の差額を助成します。

《対象室数》

「家族数+1」の居室を対象とし、最低5室とします。
国の対策の対象住宅は、差室を対象とします。

住宅防音工事に係る前回案との比較

1 住宅防音工事の内容

前 回 案	再修正案
<p>○経年住宅機能確保工事 《対象住宅》</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成6年の6枠合意に基づき、防音工事を実施した住宅とします。 <hr/> <p>《工事の内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 1戸当たり限度額の範囲内で、工事メニューの中から必要な工事を選択できることとします。 限度額は工事費と設計監理費で 179万2千円とします。 	<p>○防音建具機能復旧工事</p> <p>同左（修正なし）</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 防音工事により外部開口部に設置した防音サッシが現にその機能の全部又は一部を保持していない場合には、新たな防音サッシ（防衛省に準拠し遮音性能がT-2のもの）への取替又は内窓の設置に助成するとともに、必要な原状復旧を行います。
<p>○新規住宅防音工事 《対象住宅》</p> <ul style="list-style-type: none"> 上記以外の住宅とします。 <hr/> <p>《工事の内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 1戸当たり限度額の範囲内で、工事メニューの中から必要な工事を選択できることとします。 <p>※限度額は同上</p>	<p>○新規住宅防音工事</p> <p>同左（修正なし）</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 工法別の施工区分により、天井や壁など必要な工事を行います。 なお、防音サッシについては、サッシの取替に代えて、内窓の設置も可能とします。
<p>○建替住宅防音工事 《対象住宅》</p> <ul style="list-style-type: none"> 区域指定日までに建てられた住宅であって、区域指定日後に老朽化や災害などの理由で建て替えられるものとします。 <hr/> <p>《工事の内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象住宅が、上記工事に代えて建て替える場合の通常仕様と防音仕様の差額を助成します。 1戸当たり限度額の範囲内で、工事メニューの中から必要な工事を選択できることとします。 <p>※限度額は同上</p>	<p>○建替住宅防音工事</p> <p>同左（修正なし）</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 対象住宅が、上記工事に代えて建て替える場合の通常仕様と防音仕様の差額を助成します。
<p>○フォローアップ工事 (防音建具機能復旧工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今回の対策の進捗状況や、一定期間後の住宅の防音機能の状況などを踏まえ、工事時期と内容については、適正な時期に検討します。 	<p>同左（修正なし）</p>

2 住宅防音工事の実施方法

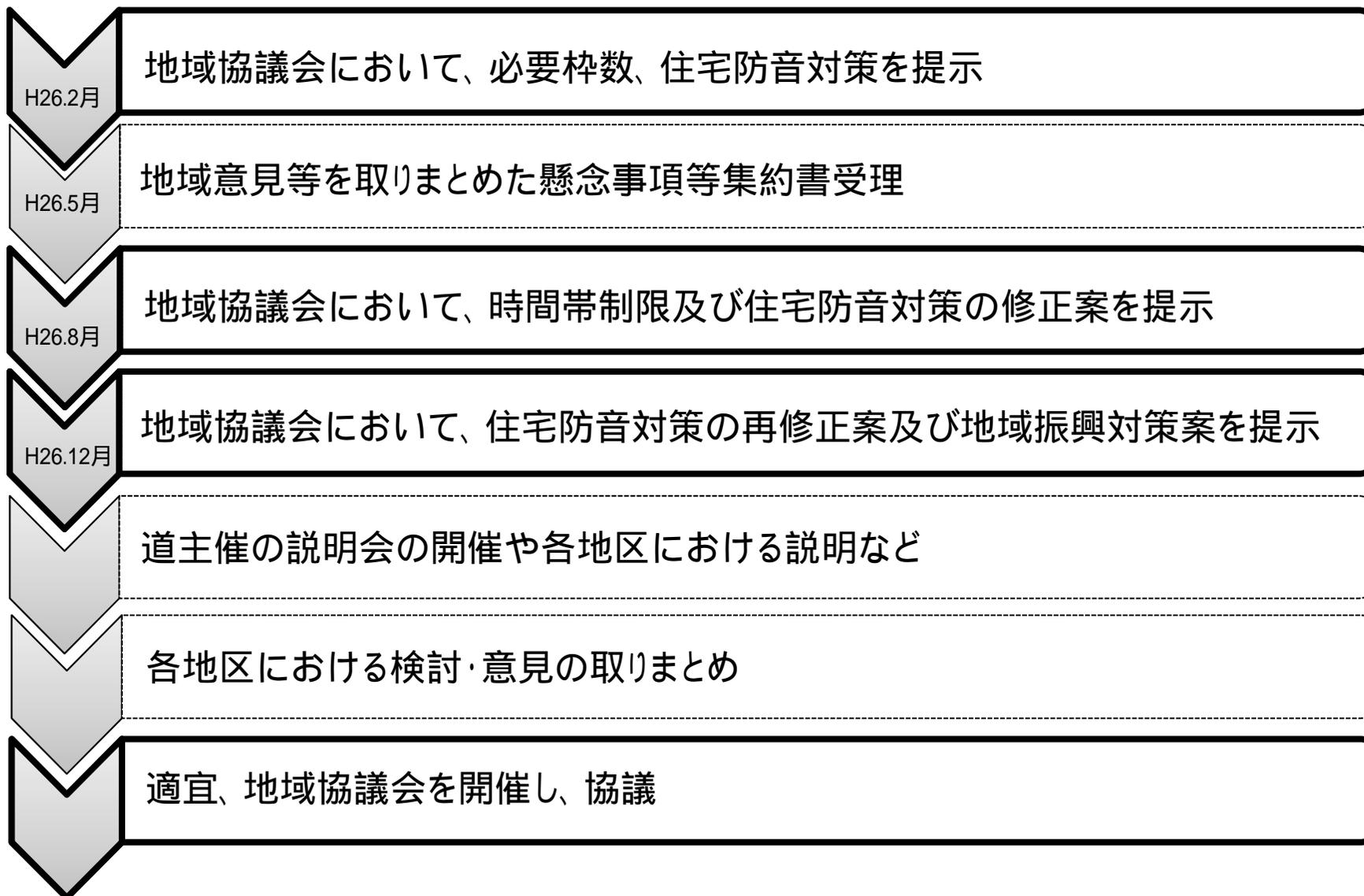
前 回 案	再 修 正 案
<p>○工事実施回数等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経年住宅機能確保工事、新規住宅防音工事及び建替住宅防音工事は、梓拡大合意後に実施します。 ・ 上記工事の実施後、今回の対策の進捗状況を踏まえて、フォローアップ工事を実施します（内容等は適正な時期に検討）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防音建具機能復旧工事、新規住宅防音工事及び建替住宅防音工事は、梓拡大合意後に実施します。 ・ 同左（修正なし）
<p>○工事の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事は、毎年度の予算の範囲内で、次の優先順位により受付し実施します。 <p>《優先順位》</p> <ol style="list-style-type: none"> ①騒音の影響の大きな地域を優先 ②内窓設置工事のみを希望する場合は区域に関わらず、優先的に受付 	<p>同左（修正なし）</p>
<p>・ 冷房装置の設置年度については、新規住宅防音工事が後年次になる場合は、先行しての設置も可とします。</p>	<p>同左（修正なし）</p>

地域振興対策案について

空港と周辺地域との調和ある発展を推進するため、地域のコミュニティ活動や生活基盤の整備を促進する以下の事業を対策案とします。

区 分	実施事業など	内 容
植苗地区	公営住宅の整備	道営住宅の建設
	道の駅関連施設の整備	展望デッキの整備
	冷暖房機器等の設置	住宅防音対策区域内の経年住宅を対象
	住宅建設が可能となる区域拡大の検討	植苗中央町内会の区域
沼ノ端地区	複合施設の整備	児童センター、行政窓口等の建設
	文化交流施設の整備	文化交流サロン等の建設
勇払地区	総合福社会館の改修	施設の大規模改修

枠拡大に係る協議の進め方



前回の地域協議会における意見等について

<項目> A・B滑走路の使用頻度について

委員からの意見等(千歳市地域協議会)

- ・ A滑走路とB滑走路の使用頻度を1か月トータルで示してほしい。

回答

- ・ 通常、A滑走路は離陸、B滑走路は着陸とされていますが、滑走路の効率的な運用や航空機の安全運航上、状況に応じた運用となっています。
- ・ コンター調査で設定条件として使用した平成24年度の滑走路使用実績によると、A滑走路68,359回(56.1%)、B滑走路53,572回(43.9%)となっており、A滑走路の方が若干多い状況です。

(単位：回)

H 2 4 年度	A 滑走路		B 滑走路	
1月	5,119	54.2%	4,328	45.8%
2月	5,017	55.8%	3,980	44.2%
3月	5,123	53.0%	4,542	47.0%
4月	5,357	56.9%	4,061	43.1%
5月	5,575	55.5%	4,469	44.5%
6月	5,910	59.3%	4,054	40.7%
7月	6,581	60.8%	4,242	39.2%
8月	6,748	60.0%	4,491	40.0%
9月	5,895	54.8%	4,855	45.2%
10月	5,577	51.2%	5,321	48.8%
11月	5,927	56.8%	4,517	43.2%
12月	5,530	54.0%	4,712	46.0%
合計	68,359	56.1%	53,572	43.9%

- ・ なお、滑走路の千歳、苫小牧側の離着陸の状況は次のとおりです。

(単位：回)

A 滑走路				B 滑走路			
千歳側		苫小牧側		千歳側		苫小牧側	
離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸	離陸	着陸
26,544	6,427	33,451	1,937	473	27,091	362	25,646